

**研究名「網膜動脈閉塞症に対する高圧酸素療法の治療効果、
および視機能予後に関与する因子の検討」**

「網膜動脈閉塞症は、主に動脈硬化により網膜動脈が詰まり網膜への血流が低下することによって高度かつ不可逆的な視力低下を来す疾患です。これまでにいくつかの治療法が試みられておりますが、現在のところ確立された治療法は存在しません。高圧酸素療法は、網膜動脈閉塞症における網膜の酸素不足を補う治療として以前から行われておりますが、その有効性については十分検討されておられません。本研究では、これまでに当院で高圧酸素療法を施行された網膜動脈閉塞症の患者様の情報を用いて高圧酸素療法の治療効果を評価すること、およびその視機能予後に関与する因子を同定することを目的としています。本研究の方法としましては、2011年1月以降に当院を受診した網膜動脈閉塞症（網膜中心動脈閉塞症及び網膜中心動脈分枝閉塞症）の患者を対象として、診療録から個人を特定できない形で、年齢、性別などの基本情報と、血圧、採血、合併症などの全身情報、心電図、胸部X線写真、頸部超音波検査、頭部MRI、眼科的情報（視力、眼圧、眼底写真、視野、網膜電図、光干渉断層計による網膜厚や造影検査結果など）を抽出します。それらの情報を統計学的手法によって解析し、網膜動脈閉塞症に対する高圧酸素療法の治療効果や、その視機能予後に関与する因子を検討いたします。また、網膜動脈閉塞症を網膜中心動脈閉塞症と網膜動脈分枝閉塞症のサブタイプに分類し、より重症度の高い網膜中心動脈閉塞症に関与する因子の検討も行います。

本研究により、高圧酸素療法の有効性を検証するとともに、治療予後を左右する因子が同定されれば、治療適応を決定する指標として活用できることが期待されます。また、重症度の高い網膜中心動脈閉塞症のリスク因子が同定されれば、発症予防により将来的な生活の質の維持に貢献できる可能性があります。診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら遠慮なく眼科医師にご連絡ください。」

（問い合わせの窓口）

東北労災病院

所在地：981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4丁目3-21

電話：022-275-1111

担当者氏名：安田 正幸